

輝く“ふくろい”

まち・ひと・しごと創生総合戦略

# やらまいか REPORT2016

## 進捗状況報告書【平成27年度版】



〔写真〕 第98回全国高等学校野球選手権 静岡県大会（準優勝）／袋井高校野球部 感謝のつどい

平成 28 年 8 月

袋 井 市

第1章	全体のまとめ	2
第2章	人口動態	3
第3章	総合戦略 [3つの挑戦／政策パッケージ]	
<b>挑戦1</b>	若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦	5
<b>挑戦2</b>	ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦	11
<b>挑戦3</b>	健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦	17
第4章	戦略を支える取組 [第2次総合計画（再掲）]	23
第5章	参考資料 [やらまいか通信（抜粋）]	25
第6章	参考資料 [地方創生交付金等の活用状況]	28

## 第1章 全体のまとめ

### 1. 人口動向の概要

- (1) **本市人口は87,174人（H28.4.1現在、前年対比19人増）と増加**し、人口ビジョンで設定した目標人口推計を若干上回る結果となった。
- (2) **合計特殊出生率は「1.73」となり、0.02ポイント改善**するも若年女性人口の減少と相まって、出生数は合併後、初めて900人を下回り、自然の増減差も、わずか59人と減少している。また、子育て世代の転出超過に歯止めがかからず、転出の抑制に向けた対策が重要となっている。
- (3) 平成27年国勢調査の人口速報値では、県全体の人口は3,701,181人、平成22年から63,826人（1.7%）の減少。**人口増加は、長泉町、藤枝市と本市の2市1町のみ。**

### 2. 戦略（政策パッケージ）の概要

総合戦略では、本市の人口ビジョンに掲げる将来目標人口や総合計画の早期実現に資する取組を加速させるほか、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「対応戦略」を“3つの挑戦（政策パッケージ）”として掲げ取り組んでいる。

#### ■ 3つの挑戦のトピックス

##### 挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

- (1) 電子黒板の整備やデジタル教材の活用など他市に先駆けICT教育環境の充実を図ったほか、「袋井商業高等学校の5年制化」に向けた県要望を実施した。
- (2) 県の「内陸フロンティア推進区域」の指定を受け、防災・減災対策（海岸防潮堤の整備）の充実・強化とあわせ、新しい産業（工業用地）の創出に向けた事業に着手した。
- (3) 地域ブログポータルサイトの開設のほか、外国人アンバサダーやふくろい未来大使（12名）の委嘱など、情報発信力とシティプロモーションの充実強化を図った。

##### 挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

「全国メロンサミット in ふくろい」の開催をはじめ、クラウンメロンのグローバルGAPの認証取得支援、タイへの輸出、ミラノ万博「日本館」出展のほか、ロシアへのお茶のトップセールスなど世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立に向けて事業を展開した。

##### 挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

労働力人口の減少、高齢者人口の増大などへの対応と地域課題への解決に資する新しい働き方の創出に向け「3 Days Worker's Office 構想」を提唱し、地域内の就労に係る需要供給の実態調査を実施した。調査結果は、需要供給双方で半数以上が本構想に賛同。

### 3. 戦略の推進について

本戦略の推進にあたっては、総合計画の評価と併せ、施策の進捗や効果等について評価し、「輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議」を中心に幅広い分野の方々の意見を伺いながら、PDCAサイクルによる継続的な改善を図ることにより、地方創生の実現に向けて常に戦略の進化を追求していく。

## 第2章 人口動向

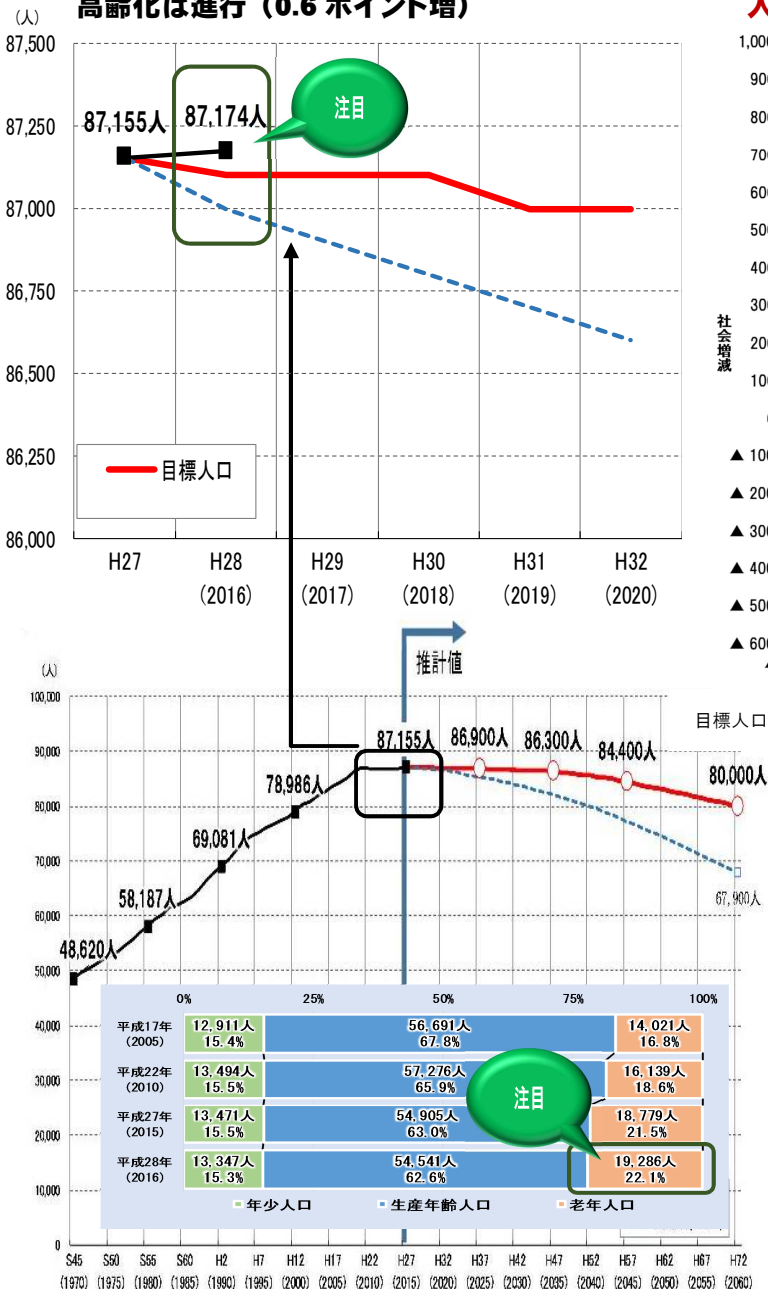
### 1. 現状と課題

- (1) 本市人口は 87,174 人 (H28.4.1 現在、前年対比 19 人増) と増加し、目標人口を上回るものの、自然増減・社会増減ともに減少傾向。
- (2) 合計特殊出生率は 0.02 ポイント改善するも若年女性人口の減少と相まって、出生数は合併後、初めて 900 人を下回ったほか、自然増減差は、わずか 59 人となっている。  
また、子育て世代の転出超過に歯止めがかからず、転出の抑制に向けた対策が重要。
- (3) 平成 27 年国勢調査の人口速報値では、県全体の人口は 3,701,181 人、平成 22 年から 63,826 人 (1.7%) の減少。人口増加は、長泉町、藤枝市と本市の 2 市 1 町のみ。

### 2. 人口推計【3区分別人口】(平成 28 年 4 月 1 日現在)

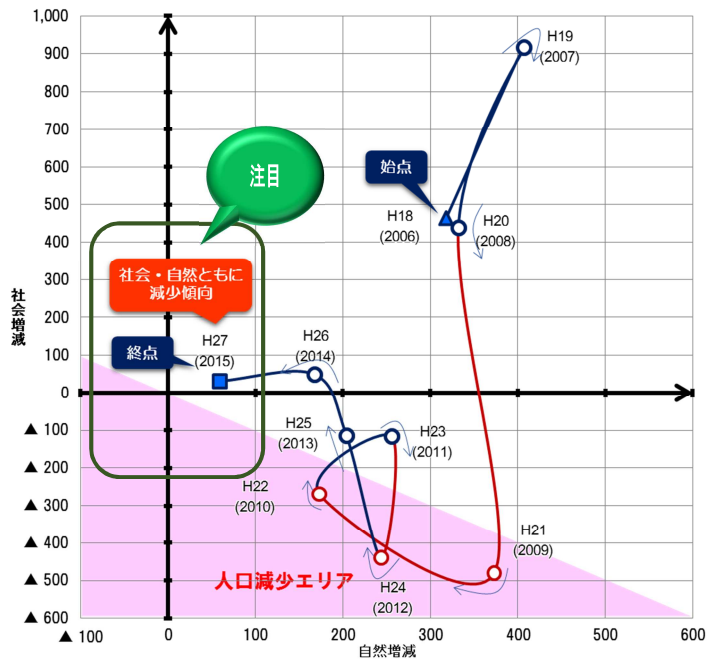
図表 1 人口推移と 3 区分別人口の推移

**人口は微増 (前年比 19 人増) しているが…  
高齢化は進行 (0.6 ポイント増)**



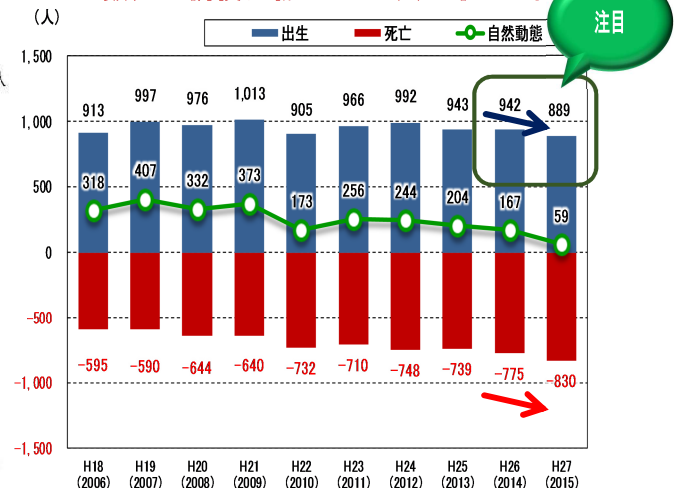
図表 2 自然増減と社会増減

**自然増減、社会増減ともに減少傾向。  
人口減少エリアに接近。**



図表 3 自然動態推移

**自然動態は微増だが、増減差はわずか 59 人。  
出生数は合併後、初の 900 人を下回る。**

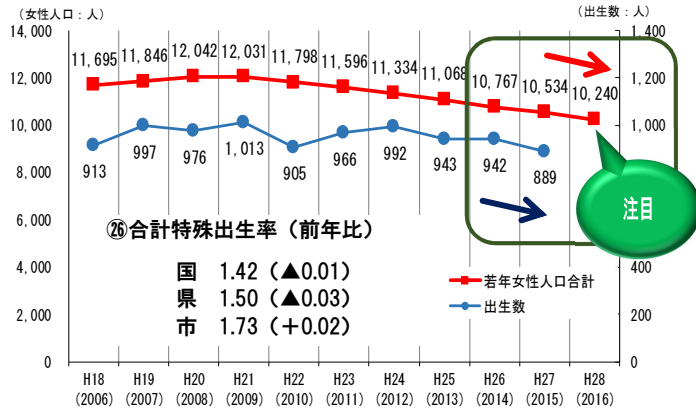




### 3. 出生に関する状況（出生数の推移）

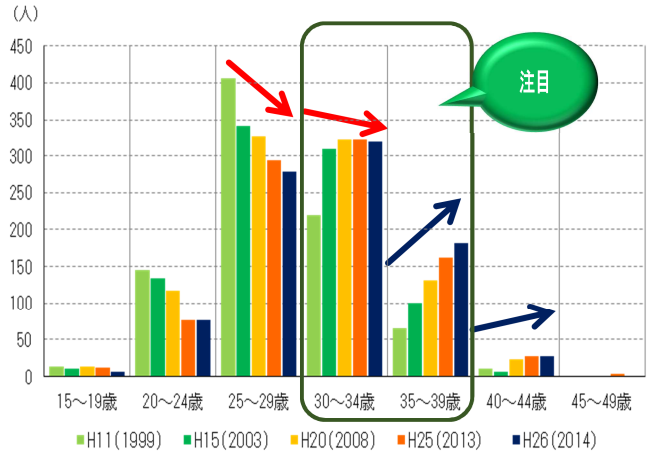
図表4 若年女性人口と出生数推移

**合計特殊出生率は0.02ポイント改善するが…  
若年女性人口・出生数ともに減。**



図表5 母親の5歳階級別出生数の推移

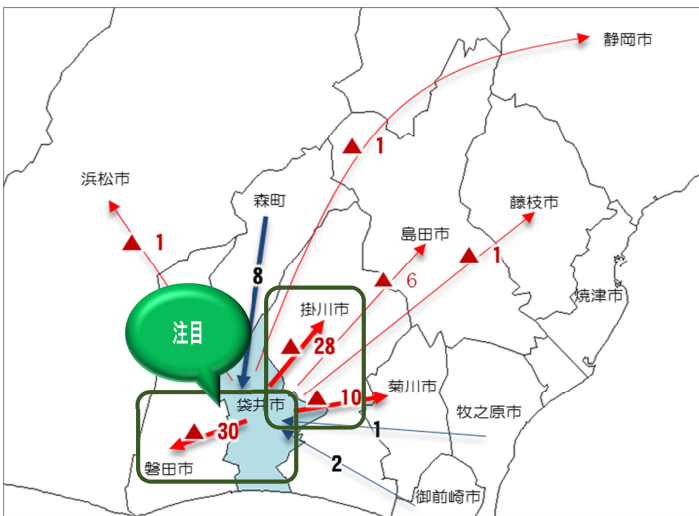
**20代での出産は減少し、30代後半が増加。  
晩婚・晩産傾向は依然強まる。**



### 4. 子育て世代の動向（5歳階級別男女増減数）

図表6 子育て世帯（0~9歳）の近隣市町への転出入状況（H27）

**子育て世帯の近隣市への転出傾向が続く**



図表7 5歳階級別増減人数

**0~9歳の子を持つ世帯の転出に歯止めきかず**

	H23	H28	増減	
年少	0~4歳	4,743	4,465	-
	5~9歳	4,442	4,534	▲209
	10~14歳	4,319	4,348	▲94
生産年齢	15~19歳	4,118	4,230	▲89
	20~24歳	4,838	4,123	5
	25~29歳	5,962	5,096	258
	30~34歳	6,665	6,208	246
	35~39歳	6,975	6,368	▲297
	40~44歳	5,804	6,755	▲220
	45~49歳	5,061	5,687	▲117
	50~54歳	5,365	4,956	▲105
	55~59歳	5,890	5,335	▲30
60~64歳	6,484	5,783	▲107	

### 5. 他都市との比較（袋井市のポジショニング）

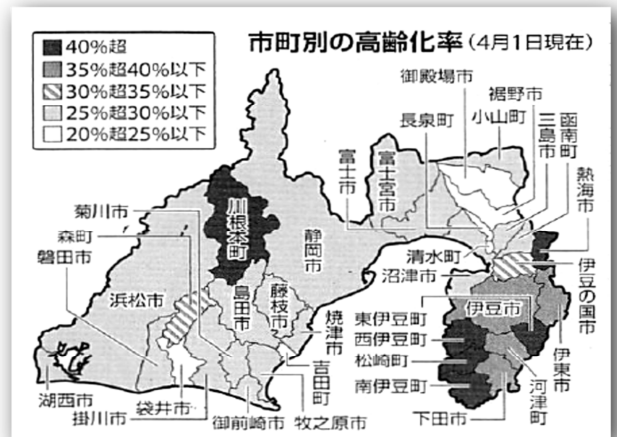
図表8 2015 国勢調査「県人口速報値」

**県内32市町で人口減少。増加は2市1町のみ**

増加数(人)		増加率(%)	
1	長泉町 1,558	1	長泉町 3.8
2	藤枝市 1,507	2	袋井市 1.10
3	袋井市 939	3	藤枝市 1.06
減少数(人)		減少率(%)	
1	静岡市 10,959	1	西伊豆町 13.0
2	沼津市 6,662	2	川根本町 10.8
3	富士市 5,646	3	松崎町 10.7
4	焼津市 3,736	4	南伊豆町 10.6
5	牧之原市 3,472	5	東伊豆町 10.2

図表9 県内高齢化率調査（H28.4.1現在）

**県内高齢化率 過去最高の27.6%（袋井市22.1%）**



### 挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

人を惹きつける地域資源を活用し、若者が魅力を感じ、集い、住みたい、住み続けたいなど、若い世代を呼び込めるまちづくりに挑む。

#### 取組1 ICT教育環境の充実

子どもたちの自ら学ぶ力を養い、教職員の子どもとふれあう時間を確保することで、学力の向上に資すると共に、心ゆたかで個性と創造性に富み、21世紀を生き抜く力を持った子どもを育成するため、ICT教育環境の充実を図る。

##### ■わかりやすい授業の実践

授業におけるユニバーサルデザインを推進し、児童生徒の学習意欲と「確かな学力」を向上させる。

##### ■校務の合理化・効率化の推進

児童生徒との触れあいや教材研究の充実を図るため、多様化している校務の合理化と効率化を推進する。



【写真】 電子黒板を活用した授業風景（笠原小）

#### 取組2 未来を拓く「遠州商人」の育成

将来の地域産業や経済を担う人材を育成するため、より実践的な職業教育を行う新たな高等教育のあり方として、中学卒業後の5年一貫教育を推奨し、タフでグローバルな感覚を持った起業人の育成など郷土を愛する遠州商人を創出させる。

##### ■袋井商業高等学校5年制化の推進

「袋井商業高等学校の5年制化」を提唱し、全国で初となる公立商業高校の高等専門学校の新設を含め、その実現に向けた働きかけを行う。

#### 取組3 静岡理工科大学との連携強化

地域や企業との連携を強化し、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。

また、地域との交流や地域課題への取組を通じて、地域への愛着を育む。

##### ■新しい事業の創出支援

静岡理工科大学と市内企業との交流を深め、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。

##### ■地域課題解決型“地（知）の拠点事業”の推進

大学を地域における知的拠点と捉え、地域の課題解決に向けた連携をさらに強化し、学内の知的資源をフル活用する。



【写真】 産学コラボネット H27 総会

## 取組4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

防災・減災対策の充実・強化と地域資源を活用した新しい産業の創出と集積に加え、袋井らしいライフスタイル実現の場の創出を目指し、内陸フロンティアを拓く取組を進化させる。

### ■袋井らしいライフスタイルの創出

### ■創業希望者の支援

### ■魅力的な工業用地の確保



## 取組5 安心して子どもが産み育てられる環境づくり

若者が結婚を機に本市に新居を構え、出産子育ての時期を、安心して楽しく過ごすことができるよう家庭、地域、企業、行政がそれぞれの役割を担いながら連携・協力し、妊娠、出産、子育てまでの段階に応じた多様な支援を行う。

### ■アクティブ育児応援プログラム推進事業

幼児の体力向上のほか、幼少期の多様な動きの習得や親子の触れ合いの機会の創出など、アクティブな育児環境の実現に向けた社会実装を加速させる。

また、職場優先の企業風土改革などワークライフバランスへの取り組みに加え、世代間の相互扶助の拡充、若者に幼児に触れる機会の創出などにより結婚機運の醸成を図る。

### ■子ども・子育て支援エリアの充実

### ■子育て世代包括支援センターの開設

## 取組6 シティプロモーションの充実・強化

“誇りと愛着のもてるまち”を目指し、自らがシティプロモーションの担い手となって袋井の魅力を磨き、育て、発信できる仕組みを設けるとともに、全国・世界を視野に、本市の都市ブランド力を向上させ、移住・交流人口の増加につなげる活動を展開する。

### ■「魅力ある袋井」を発信できる人材の育成

本市の潜在性（ポテンシャル）を引き出し、自らが語り部となって情報発信できる人材を育成する。

また、多様なまちの魅力を発信し共感し合う市民の輪を広げ、新たな地域文化を創造する。

### ■全国・世界に向けた情報発信力の強化

人口の首都圏一極集中を打開するため、移住希望者を視野に情報発信する。

また、本市周辺の大学や専門学校などに留学している外国人の協力のもと、本市の存在を世界に向けてアピールし、交流人口の増加を促す。



[写真] 地域ログサイト「はまぞう」に公式ブログ開設



## 挑戦 1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

### 1. 現状と課題

- (1) 「ICT教育環境の充実」については、デジタル教材を駆使したわかりやすい授業の実践を推進するため、地方創生交付金を活用して4小学校へ電子機能付きプロジェクター及びデジタル教材等を先行的に導入した。今後、全ての小中学校への順次導入する方針。  
また、モデル校(浅羽南小学校)において、タブレットを活用した学習応援システム「やるkey」実証実験を実施した。本格的な導入については、結果の検証を踏まえ検討する。
- (2) 「未来を拓く「遠州商人」の育成」については、袋井商業高等学校5年制化の推進を図るため、発起人会を設立するとともに、静岡県知事及び県教育長に対し「要望書」の提出を行った。今後、県教育委員会が具体的な対応を検討するが、本市としても、引き続き国や県の動向などを注視するとともに、早期実現に向け県と連携し対応していく。
- (3) 「静岡理工科大学との連携強化」については、大学が有する資源を地域企業に展開するとともに、学生の地域企業への就職機会の拡大などを通じて、大学及び企業の連携機能拡充を目的としている「静岡理工科大学産学コラボネット」の総会が開催されたほか、市内企業と静岡理工科大学の共同研究や開発を促進するため、「袋井市産学官交流会」を開催した。また、地域課題解決型“地(知)の拠点事業”の推進として、「地域学講座」や「お理工塾」、「Rikejo Cafeでの意見交換会」などを開催した。今後、大学との連携事業について、取り組みを拡大していく。
- (4) 「内陸フロンティアを拓く取組」については、創業希望者や中小企業者の支援拠点として「どまんなかチャレンジプレイス」が開設され、プレイス内には「静岡県よろず支援拠点西部地区袋井サテライトオフィス」が併設されたほか、商工会議所や商工会、金融機関等と連携して「袋井市創業支援事業計画」を策定し、国から認定を受けた。今後、創業塾などの事業を実施していく。また、工業団地造成での発生土を活用した防潮堤整備事業について、県から内陸フロンティア推進区域の指定を受けた。事業の更なる推進に向け、県と連携を強化していく。
- (5) 「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」については、幼児の体力向上や親子の触れ合いの機会の創出を図るため、地方創生交付金を活用し、「アクティブ育児応援プログラム推進事業」として「親子うんどうあそび教室」を開催した。引き続き、保育園・幼稚園でのプログラムの普及を図るとともに、市内企業等に協力を要請して教室を開催していく。また、子ども・子育て支援エリアの充実を図るため「育ちの森」開設準備を進めた。さらに、妊娠期・子育て期の支援体制の強化を図るため、「子育て世代包括支援センター」開設の準備を進めることと併せて、様々な子育て情報を入手できる「子育て応援アプリ(ふっぴーのぽっけ)」を開発し、運用を開始した。今後は更に使いやすくなるよう、機能改善を図っていく。
- (6) 「シティプロモーションの充実・強化」については、「魅力あるふくろい」を発信できる人材の育成や全国・世界に向けた情報発信力の強化を進めるため、ふくろい未来大使を12人に委嘱するとともに、地域ブログポータルサイトを設置した。また、市民映画の製作に向け実行委員会設置などの準備を行った。本年度は「ふくろい市民映画製作実行委員会」を設立し、映画製作に取り組んでいく。



## 2. 主な施策の進捗状況

施策名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
1-1 ICT教育環境の充実						<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板機能付きプロジェクター及びデジタル教材等を導入。4小学校の全ての教室に配備（導入校）三川・笠原・今井・袋井東の一部</li> <li>デジタル教材を駆使した授業の充実を図るためICT支援員を配置</li> <li>小学校向け学習応援システム「やるKey」タブレットを活用した学力向上の実証実験（モデル校）浅羽南小学校</li> </ul>	学校教育課
1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成						<ul style="list-style-type: none"> <li>袋井商業高等学校5年制化の実現に向けた発起人会を設立（H28.1.22）</li> <li>県知事及び県教育長に「要望書」提出（H28.3.31）</li> </ul>	市長公室
1-3 静岡理工科大学との連携強化						<ul style="list-style-type: none"> <li>「産学コラボネット」H27 総会開催（H27.10.14）</li> <li>「袋井市産学官交流会」（H28.3.4）</li> <li>「地域学講座」開催（全4回）</li> <li>「お理工塾」開催（浅羽東・袋井南・三川・高南）</li> <li>「RikejoCafe意見交換会」開催（H27.6.23）</li> </ul>	産業振興課 企画政策課 生涯学習課 市長公室
1-4 内陸フロンティアを拓く取組						<ul style="list-style-type: none"> <li>「どまんなかチャレンジプレイス」開設</li> <li>静岡県よろず支援拠点西部地区袋井サテライトオフィス開設（H27.11.2）</li> <li>「袋井市創業支援事業計画」策定⇒国が認定（H27.10.2）</li> <li>防潮堤と工業団地一体整備事業⇒県が内陸フロンティア推進区域に指定豊沢地区・小笠山山麓（H27.10.13）</li> </ul>	産業振興課 建設課 都市整備課 スポーツ推進課 農政課
1-5 安心して子どもを産み育てられる環境づくり						<ul style="list-style-type: none"> <li>親子うんどうあそび教室・講演会開催</li> <li>子育て応援アプリを開発・運用開始（登録者数：H28.7 末現在 597 件）</li> <li>育ちの森開設準備（H28.4 袋井保健センター跡地に開設）</li> <li>子育て世代包括支援センター開設準備（H28.4 総合健康センター内に開設）</li> </ul>	スポーツ推進課 すこやか子ども課 育ちの森健康づくり課
1-6 シティプロモーションの充実・強化						<ul style="list-style-type: none"> <li>ふくろい未来大使を12人に委嘱（H28.1.28）</li> <li>地域ブログポータルサイトを設置（H28.1.5）</li> <li>「ふくろい市民映画製作実行委員会」設立⇒映画製作を実施中</li> </ul>	企画政策課 生涯学習課

### 3. 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 🌟 概ね順調 😊 低調 😞 ]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

#### 1-1 ICT教育環境の充実

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
授業がよく分かると答える児童の割合[↑] 【出典：学校教育課】	%	— (H26)	88.0				90.0	😊
全国規模の学力調査で全国平均を上回る 科目の割合(小6)[↑] 【出典：第2次総合計画】	%	50.0 (H26)	20.0				100.0	😞

#### 1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
袋井商業高等学校の5年制化の実現 【出典：市長公室】	—	3年制 (H26)	県知事 要望				実現	😊

#### 1-3 静岡理工科大学との連携強化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
静岡理工科大学と市内企業の産学交流 研究数(5年間累計)[↑] 【出典：第2次総合計画／工業振興計画】	件	15 (H22~26累計)	4 (H27)				20	😊
若者など市民を対象にした学習機会[↑] 【出典：生涯学習課】	回	30 (H26)	38				50	😊
大学生との協働活動の実施件数 (5年間累計)[↑] 【出典：企画政策課】	回	1 (H26)	2				10	😊

#### 1-4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
利用を特化した公園数[↑] 【出典：都市整備課】	箇所	0 (H26)	0				3	😞
公園を利用した展示、販売等のイベント数 [↑] 【出典：都市整備課】	回	1 (H26)	4				6	😊
体験ツアー等参加者数[↑] 【出典：スポーツ推進課】	人／年	— (H26)	3,300				10,000	😊
農業体験ツアー開催数[↑] 【出典：農政課】	回	— (H26)	2				5	😊
創業件数 (卸・小売業・サービス業／5年間累計)[↑] 【出典：第2次総合計画】	件	94 (H22~26累計)	17 (H27)				130	😊
新たな工業用地の創出面積 (5年間累計)[↑] 【出典：産業振興課／参考：工業振興計画】	ha	— (H26)	豊沢開発 造成中				14	😊

### 1-5 安心して子どもが産み育てられる環境づくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
運動教室への参加率 (企業等の協力度)[↑] 【出典:スポーツ推進課】	%	— (H26)	83.0				90.0	😊
子育てが楽しいと感じる人の割合[↑] 【出典:スポーツ推進課】	%	— (H26)	100.0				80.0	😄
子育てに関する相談(0~18歳)が切れ目なく受けることができていると思う保護者の率[↑]【出典:育ちの森】	%	— (H26)	92.3				90.0	😄
「育ちの森」(相談支援施設)を利用することで子どもへの理解が深まった保護者の率[↑]【出典:育ちの森】	%	— (H26)	88.0				80.0	😄
生後2ヶ月以内の赤ちゃん訪問の実施[↑] 【出典:健康づくり計画】	%	33.2 (H26)	64.6				50.0	😄
不安や心配を抱える妊産婦(特定妊産婦・ハイリスク妊産婦を除く)に支援を行った割合[↑] 支援(経過観察を要する)者への相談訪問件数(延べ件数)【出典:健康づくり課】	%	18.5 (H26)	23.8				100	😊

### 1-6 シティプロモーションの充実・強化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
市民情報交流サイト「いいね」の数[↑] 【出典:企画政策課】	件	— (H26)	集計中				5,000	—
市民映画観客動員数[↑] 【出典:生涯学習課】	人	— (H26)	制作準備				10,000	😊
全国地域ブランド調査における魅力度の順位[↑] 【出典:企画政策課(地域ブランド調査結果)】	位	787 (H26)	秋頃公表				300	—

## 4. 創生会議等における主な意見 (○…ふくろい部会、●…首都圏部会)

- 袋井商業高等学校5年制化の実現に向けたハードルは高いが、観光や物流など成長産業分野への人材供給や語学力だけでなく国際的な感覚やマーケティングスキルを身につけられるなど、「新しい学校のコンセプト」を掲げて取り組むことで関係者の賛同や活路を見いだすことができるのではないかと。
- まちの更なる発展には、新たな産業や雇用の創出が必須。今後は新東名と東名との南北軸の強化とあわせ、その周辺エリアを活用した企業誘致など、次なる戦略も検討していくことが重要。
- 子育て世代の抱える問題や悩みは複雑かつ多様。就労を支援する保育の充実が「子育て支援」の柱ではない。子育てに対する不安の解消や息抜きなど、精神的なサポートを求めている。改めて本質的なニーズ把握が大切。
- シティプロモーションについては、メディア等への露出の度合いや頻度だけでなく、実際に必要な情報がターゲットに届いているかなど、実態を踏まえた検証と改善を繰り返すことが重要。  
袋井の露出度合いは高まってきていると感じている。
- 遠州三山や花火大会をはじめ、学生フォーミュラ大会やホームステイ事業など話題性を含めて、素材は極めて良いが、情報発信力(手段や手法、財源配分)が弱い。今や、最も強い情報伝達手段は「ロコミ」であり、イベントの集客を高めるための告知イベントを仕掛けるなど、話題づくりや情報発信(拡散方法)に注力することが大切。

## 挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

市民の生活に潤いと安らぎを与える「袋井らしさ」を追求し、地域資源とICTの結合などにより、地域経済を支える産業の生産性の向上と活性化に挑む。

### 取組1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

本市を代表する観光拠点である遠州三山を中心に、情報発信を強化し、国内外からの観光交流客の誘客と滞在時間を増やすプランの創造やおもてなし環境の整備を推進する。

#### ■新しい賑わいの場づくり

「ここならではの」のお土産づくりやメニューの充実、統一感のある門前（雰囲気）づくりのほか、四季折々のイベントを開催するなど、年間を通じた賑わいの場づくりを推進する。



【写真上】法多山門前再興プロジェクト会議の様子

【写真左】統一感のある門前づくり

門前通り「おでん」食べ歩き（パンフレット）

#### ■非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造

遠州の古刹めぐり「三日坊さんの旅」を基に、歴史的建造物や仏像などを巡るプランのほか、修行体験や精進料理の作り方教室など、地域資源を活用した非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造により誘客の促進を図る。



【写真】ベトナム留学生@可睡齋／日本文化体験プログラム

#### ■国内外に向けた情報発信の強化

SNSの活用や首都圏・中京圏の旅行会社等の招聘など、本市を知り、実際に訪れてもらうまでの戦略的なアプローチを視野に入れた情報発信を行う。

主要観光施設へのWi-Fi環境の整備のほか、パンフレットや案内看板、ホームページ等の外国語対応を充実させ、インバウンド観光の受入体制の強化を図る。



## 取組2 農業の未来を創るプロジェクト

基盤整備や作業の効率化による生産性の向上のほか、「強み」のある産地形成に向けた作付け転換、異業種連携や農業法人を含む担い手の育成など、新しい農業を拓く取組を推進する。

### ■畑地管理の適正化と農地の有効利用

茶畑の作業効率と生産性の向上に向けた基盤整備と集積を図るとともに、茶の転換作物などの研究を推進し、「強み」のある産地形成を図り、農業者所得の向上と耕作放棄地の解消を目指す。

### ■水田のフル活用と地域に親しまれる米づくり

人・農地プランや農地中間管理機構を活用し、意欲のある担い手への農地集積と水田の高機能化により、生産性の向上と高度利用を図る。また、「(仮称)水田市民農園」を開設し、市民生活に潤いとやすらぎを与えるとともに、米の地産地消の推進を図る。

### ■クラウンメロンの更なる飛躍

熟練生産者の生産技術を検証し、ICT等を活用した業務の標準化（マニュアル化）をすることで、技術の継承と新規就農を促すとともに、安定した高品質メロンの生産と出荷増を図る。

## 取組3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

トレーサビリティをはじめとした安全、安心な体制の確立と産地表示などと併せた知名度の向上などの取組により、国内外のさらなる販路拡大を図る。積極的な販売促進活動を通じた消費者ニーズの獲得により、クラウンメロン等のブランド力のさらなる強化を図る。

### ■農産物の外的評価の推進

品質や安全性などの農産物の付加価値を高めるため、産地表示、機能性表示、GAP認証などの外的評価制度を活用し、消費者や取扱業者から選ばれる商品づくりを推進する。



[写真] GLOBAL G.A.P.認証取得（クラウンメロン生産者）

### ■農産物の海外輸出の拡大

ロシアや東南アジアなど、新たな市場の開拓に向けた販売促進活動を展開するほか、EU諸国や米国等への輸出を含め、競争力のある商品づくりと確かな商流の確保に努める。

### ■クラウンメロンのブランド力の強化

消費者ニーズの更なる獲得に向け、加工品の開発やターゲットを絞った販促活動の実施し、ブランド力の強化と魅力ある商品づくりを促進する。全国のメロン産地のネットワーク化により、果実界におけるメロンの地位復活を目指す。



[写真] 全国メロンサミット in ふくろい

## 挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

### 1. 現状と課題

- (1) 「遠州三山“寺のある暮らし”推進プロジェクト」については、新しい賑わいの場づくりとして、法多山では産学官金労が連携した「門前再興プロジェクト」が始動し、「門前通りのおでん食べ歩きパンフレット」を作成するとともに、門前の空き店舗活用等の検討を行った。今後、引き続きプロジェクト会議を開催し、門前活性化の具体的な内容を検討するとともに、四季折々の資源の発掘や活用により、年間を通じた賑わいの創出に取り組む必要がある。
- (2) 非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造や国内外に向けた情報発信の強化を目的として、可睡齋で県内ベトナム留学生日本文化体験プログラムが実施されたほか、地方創生交付金を活用し、外国版観光パンフレットの作成を行った。今後は、「国際交流体験事業ふくろい版ホームステイ」など、まちの国際化を進める事業とも連携を図りながら、それらを活用した観光ガイドの育成等、外国人観光受入体制の整備に取り組んでいく。
- (3) 「農業の未来を創るプロジェクト」については、株式会社大和コンピューターがICT技術を活用したメロン栽培を自社農場で実施した。今後も同社の取り組みについて、定期的に情報収集や意見交換を行う。
- (4) 「世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立」については、農産物の外的評価の推進を図るため、地方創生交付金を活用し、GAP（農業生産工程管理）の認証取得を推進した。今後も引き続き取得を推進していく。
- (5) クラウンメロンのブランド力の強化を目的に、小笠山総合運動公園エコパを会場として、全国10道県のみもメロン産地を集め、「全国メロンサミットinふくろい」を開催した。次年度以降も各産地持ち回りで開催していく。
- (6) 農産物の海外輸出の拡大については、袋井茶振興協議会が、ロシアで開催された「ロシア国際食品展示会（PIR）」でのジャパンパビリオンに出展したほか、市長も現地入りをしてロシアでお茶のトップセールスを行った。また、クラウンメロンは、ミラノ万博への出展のほか、地方創生交付金活用によりタイ輸出などにも着手した。引き続き、タイなど東南アジア圏での販路拡大に向け、取り組みを加速していく。

## 2. 主な施策の進捗状況

施策名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
2-1 遠州三山「寺のある暮らし」 推進プロジェクト						<ul style="list-style-type: none"> <li>・「門前再興プロジェクト会議」の開催（3回開催）</li> <li>・「日本文化体験プログラム」の開催（対象）県内ベトナム留学生（主催）静岡県 H27.11.28～29</li> <li>・外国語版観光パンフレット「袋井ほっと観光」作成「三日坊さんの旅」作成（中国語・韓国語・英語）</li> <li>・可睡齋「ひなまつり」</li> </ul>	産業振興課 市長公室
2-2 農業の未来を創る プロジェクト						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT技術を活用したメロン栽培株式会社大和コンピューター（本社：東京都）が自社農園（浅羽南地区）で研究開発</li> </ul>	農政課
3-3 世界で戦える農産物と ビジネスモデルの確立						<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶のロシアへの輸出に向けた展開ロシアへのお茶トップセールス袋井茶振興協議会「食品展示会 PIR」出展⇒商談 120 件（H27.10）</li> <li>・「全国メロンサミット in ふくろい」開催</li> <li>・グローバル G.A.P.の認証取得（H27 年度末実績）⇒クラウンメロン生産者 20 軒⇒お茶生産者5軒</li> <li>・クラウンメロンの輸出に向けた展開ミラノ万博「日本館」静岡ウィーク出展（H27.8）</li> <li>・クラウンメロンのタイ輸出⇒119 ケース出荷（H27 年度）</li> <li>・クラウンメロンの加工品取扱企業⇒味覚糖「ぷっちょ」ほか 34 社</li> </ul>	農政課

### 3. 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😄 概ね順調 😊 低調 😞 ]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

#### 2-1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
観光交流客数[↑] 【出典：第2次総合計画 ／観光基本計画(後期計画)】	万人 ／ 年	423 (H26)	466				468	😊
主要観光拠点のWi-Fi設置数[↑] 【出典：観光基本計画】	件	2 (H26)	3				10	😊

#### 2-2 農業の未来を創るプロジェクト

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
耕作放棄地解消面積[↑] 【出典：農業振興ビジョン】	ha/年	10.7 (H26)	5.6				11.0	😞
農業法人数[↑] 【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】	社	34 (H26)	34				39	😞
利用権設定面積[↑] 【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】	ha	960 (H26)	961.8				1,075	😊

#### 2-3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
お茶の海外輸出量[↑] 【出典：農政課】	トン/年	10 (H26)	10				15	😞
メロン加工品取扱企業の数[↑] 【出典：農政課】	社	31 (H26)	35				35	😊

### 4. 創生会議等における主な意見 (○…ふくろい部会、●…首都圏部会)

- 遠州三山やエコパ(小笠山総合運動公園)は、他にはない袋井固有の貴重な財産。現在も相当数の誘客力を有しているが、これをいかに活用し、まちの成長戦略に結びつけられるかが重要。また、新たな話題と価値創造には、AR※等の先端技術を積極的に活用するなど、今ない世界観(未来)を感じる仕掛けや投資が必要。  
※ARとは…[Augmented Reality]拡張現実感。コンピューターを利用して、現実の風景に情報を重ね合わせて表示する技術
- 農産物の販路拡大には、従来の市場関係者に加え、生産者や行政も一体となった取り組みが有効かつ必要。  
市長トップセールスは、幅広い関係者との連携や支援への結びつきが期待できる。今後も積極的に取り組むべき。
- 農業の活性化に向けた取組として、生産者と消費者をともに育む「農業体験」は有効な方策。消費者との交流機会の創出は商品のPR(理解)にも寄与する。生命食など、「健康」は農業の未来を拓くキーワードになる。
- 「オリーブ」や「エゴマ」など収益性の高い作物の栽培など、耕作放棄地対策としても検討し、取り組むべき。
- 大塚製菓やポーラ化成工業、ハウス食品など、国内外に高い知名度やシェアを持つ企業が多いのは強み。  
工場見学は、貴重な観光資源となり得る。また、クラウンメロンのように、特産物を活かした商品開発や販売の連携した情報発信は有効で、民間の力をフル活用した極めて戦略的な取組。今後とも積極的に取り組むべき。



(参考資料：トピックス)

## ■ 2019年ラグビーW杯開催地決定 (H28.3.2)

2019年に日本で開催されるラグビー・ワールドカップ(W杯)の開催地が決まった。

本市に立地する「静岡スタジアム」のほか、岩手県釜石市や大阪府東大阪市など12会場が選ばれた。

アジア初開催となる日本大会は約1カ月半の期間中に40万人の訪日客が見込まれ、翌20年の東京五輪・パラリンピックとともに国際的なスポーツ観光の起爆剤に期待が高まる。



## ■ 「ラグビーW杯 2019 袋井市開催推進委員会」始動 (H28.3.24)

ラグビーW杯の開催を契機に“まちの国際化”と“地域の活性化”を目指して…

(取組方針)

- (1) 豊かな市民力の向上 (英語力の強化、ふくろい版ホームステイの推進など)
- (2) ユニバーサルなまちづくり (Wi-Fi環境や都市サインの多言語化など)
- (3) まちのブランド力の強化 (シティプロモーション、まちの誇りと愛着づくりなど)



[写真左] キックオフ講演会 (H27.12.19 エコパスタジアム)



[写真右] 「ラグビーW杯 2019 袋井市開催推進委員会」設立総会

## 挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

いつまでも光り輝き社会を支える人（アクティブ・シニア）づくりと将来にわたって、持続可能な地域医療・介護提供体制の構築とあわせ、医療費の適正化に挑む。

### 取組1 プラチナ社会の実現への取組

労働力人口の減少、高齢者人口の増大などへの対応と地域課題への解決に資する新たな働き方（生きがい就労）を創出し、市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちの実現を目指す。

#### ■3Days worker's office 構想の推進

高齢者をはじめ、子育てや闘病などを起因に、フルタイムでの就労が困難な方などを対象に、「生きがい就労」という新しい働き方を創出し、需要供給の総合調整のほか、ジョブトレーニング等を支援する仕組みを構築する。

[注] 3Days worker's office 構想とは…

「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組み



#### ■小さな拠点づくり推進事業

誰もがアクセスしやすい場所に医療施設や金融機関、公共サービス施設を集約させることで、車に頼らず、“年をとっても暮らしやすいまち”の創出を目指す。

### 取組2 セルフメディケーションの推進

2025年問題への対応と医療費の抑制に向け、病院や診療所など、限りある地域の医療資源を持続的かつ効果的に利用するために、診療情報の共有化と自己の健康状態を常に把握できる社会基盤を整備する。

[注] セルフメディケーションとは… 自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること

#### ■「地域共通診察券」の導入プロジェクト

- 健康実態の分析調査（ビックデータの統計・分析処理）
- 地域共通診察券の導入

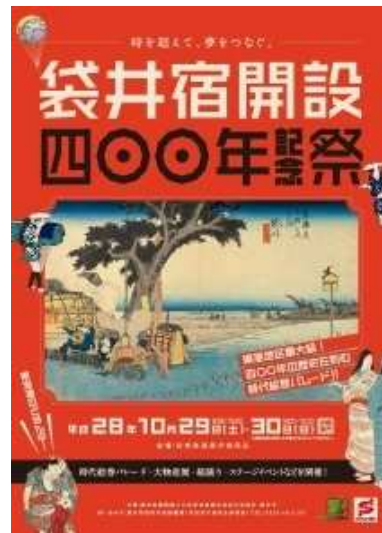


### 取組3 歩いて楽しいまちづくり

市の中心核であるJR袋井駅周辺区域と約2.5km北に位置する健康・福祉・スポーツ機能集積エリアまでの区域内を“歩いて楽しい”健康的なまちづくりの先導区域として空間整備する。

#### ■歩いてみたくなる空間の整備

高齢化の進行に伴う医療費等への財政負担を軽減するため、従来から本市で取り組んでいる“歩く”の視点に立って、歩行者主役の心地よい空間を整備する。



[写真] ふくろい宿 de 花マルシェ / ふくろい宿「グルメフェア」

[写真] 袋井宿開設四〇〇年記念祭

#### ■ウォーキングや健康増進のための活動拠点の整備

ウォーキングや健康増進などに取り組む人達が、集い、交流することができる空間を整備する。

### 取組4 自転車を活かしたまちづくり

平坦地が多いことや温暖な気候など、自転車利用に適した環境を活かし、自転車利用の推進によって、市民の健康を維持・増進するとともに、医療・介護費等の削減につなげ、「日本一健康文化都市」の実現を目指す。

#### ■自転車を活用した新しいライフスタイルの提案

市民の身近な移動手段である「自転車」を日常生活に取り入れ、新たなライフスタイルの実現に向けて「自転車」の持つメリットである「健康」、「経済」、「環境」、「時間」の4つの分野に分け、各種事業を実施していく。



[写真] 電動付きアシスト自転車貸出、購入補助

### 1. 現状と課題

- (1) 「プラチナ社会の実現への取組」については、「3 Days Worker's Office構想」の推進を図るため、地方創生交付金を活用し、地域内就労需給の実態調査を実施した。結果として、高齢者は、半数以上が就労、役立ち感・生きがい志向のほか、異業種への転職意向があること、子育て期女性の約6割が就労内容に加え、勤務時間や日数の柔軟性、休暇の取得しやすさ、勤務場所の利便性などを重視していることなどが明らかとなった。今後については、調査結果を踏まえ、本構想の実現に向けた骨子策定を行い、仕組みづくりを進めていく。
- (2) 「セルフメディケーションの推進」については、市民の生活習慣病に対する意識を高めるため、地方創生交付金を活用し、県及び市特定健診結果等のデータ分析を行い、県内上位の有病率となっている糖尿病について、年齢別の発症率、有病者の生活習慣の県市比較などから本市の傾向を調査した。結果として、全体的な傾向は40歳代で生活習慣が悪いものの発症率は低く、50歳代以降は生活習慣が改善するものの、発症率が高くなるというものであった。今後については、若い世代（40歳前後）からの介入を検討するとともに、引き続き必要な分析を進めていく。
- (3) 「歩いて楽しいまちづくり」については、歩いてみたくなる空間の整備を実施するため、「歩いて楽しいまちづくりの基本方針」をまとめるとともに、国の補助事業（都市再生整備計画事業）の認定手続きを進めた。今後については、袋井宿開設四〇〇年メモリアル広場の整備や駅南循環線整備などを進めていく。
- (4) 「自転車を活かしたまちづくり」については、自転車を活用した新しいライフスタイルの提案を行うため、電動アシスト付き自転車補助金の交付や電動アシスト付き自転車貸出事業、自転車通勤健康プログラムの推進を行った。今後については、引き続き継続して事業を実施していく。



## 2. 主な施策の進捗状況

施策名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
3-1 プラチナ社会の実現への 取組						<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3Days Worker's Office 構想」提唱</li> <li>・「3Days Worker's Office 構想」骨子整理</li> <li>・「地域内就労需給実態調査」の実施の実施                &lt;アンケート調査&gt;                [需要側]⇒回収率 51.9%                [供給側]⇒回収率 72.8%                &lt;ヒアリング調査&gt;                [需要側]公共団体、民間企業、農業者                [マッチング機関]シルバー人材センターほか</li> </ul>	しあわせ推進課 市長公室 企画政策課 地域包括ケア推進課 健康づくり課 都市計画課
3-2 セルフメディケーションの 推進						<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診結果等のデータ分析                糖尿病予防・撃退に向けた要因分析ほか                (浜松医科大学との連携事業)</li> <li>・健康啓発備品の充実強化                健康年齢測定器、健康教育用モニター等</li> </ul>	健康づくり課 地域包括ケア推進課 市民課
3-3 歩いて楽しいまちづくり						<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歩いて楽しいまちづくりの基本方針」策定</li> <li>・「ふくろい宿 de 花マルシェ」などの開催</li> <li>・(国)「都市再生整備計画事業」認定申請                (対象エリア)久能(総合健康センター)                ~袋井駅南地区 200ha</li> </ul>	企画政策課 都市計画課 都市整備課
3-4 自転車を活かしたまちづくり						<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動アシスト付き自転車補助金                (市内在住 60 歳以上に1万円/人を補助)                ⇒47 件延べ 47 万円補助</li> <li>・電動アシスト付き自転車貸出事業                (市内在住 60 歳以上に最長3ヶ月間)                ⇒39 人に貸し出し</li> <li>・自転車通勤健康プログラム                (自転車通勤を推進)                ⇒市内6事業所で実施(市役所含む)</li> </ul>	企画政策課

### 3. 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😄 概ね順調 😊 低調 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

#### 3-1 プラチナ社会の実現への取組

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
健康寿命の延伸(お達者度)[↑] 【出典：第2次総合計画 ／健康づくり計画(県健康増進課)】	年	男 17.51 (県内 15 位) 女 20.87 (県内 20 位) (H24)	男 17.44 (県内 19 位) 女 20.86 (県内 21 位) (H25)				男 17.69 (10 位以内) 女 21.17 (10 位以内)	😞
子育て世代の社会移動[↓] 【出典：市長公室】	世帯	△60 (H26)	△74				均衡 (±0)	😞

#### 3-2 セルフメディケーションの推進

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
「地域共通診察券」参加医療機関数[↑] 【出典：地域包括ケア推進課】	機関	— (H26)	未実施				39	😞

#### 3-3 歩いて楽しいまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
JR袋井駅南北連絡線利用者数[↑] <del>JR袋井駅周辺区域における歩行者の数</del> 【出典：企画政策課】	人/日	8,098 (H26)	8,134				10,000	😊

#### 3-4 自転車を活かしたまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
1週間に1回以上自転車を利用する 人の割合[↑] 【出典：自転車を活かしたまちづくり指針】	%	20.3 (H26)	H29 年度 調査予定	H29 年度 調査予定			25.0	—

### 4. 創生会議等における主な意見 (○…ふくろい部会、●…首都圏部会)

- 「3Days Worker's Office構想」は、人口減少社会における適応戦略を代表するもので、労働力の確保と生きがいづくりという観点から、時代の潮流にあった有意義な取り組みである。国も「一億総活躍社会の実現」や「働き方改革」などを掲げており、様々な壁はあるが社会全体で取り組んでいくべき課題である。
- 人口減少社会において、企業が「いかに労働力を確保するか」は重要課題。どの会社も経営を取り巻く環境変化に合わせていくことが必要。例えば、第4次産業革命を見据えた新しい業務や成長事業は若い世代に任せ、ベテラン世代にはこれまでの知見を生かし、既存事業や若手のサポートで活躍してもらうなど、世代間で業務分担を大きく変えるような、従来型の社内マネジメントを根本的に変える大変革に迫られている。
- ICT技術の進展は著しく、ウェアラブル端末\*やIoT機器など、そこから得られる健康情報を活用し健康改善に資する様々な民間サービスが開発されており、今後は、より個別の健康管理が容易になる。行政もヘルスケア産業などの民間サービスの動向を注視し、効果的なものを上手に活用して健康づくり事業を進めていくことが必要。

※ウェアラブル端末とは…メガネや腕時計など、身につけて持ち歩くことができる情報端末の総称。

(参考資料：トピックス)

## ■金融機関との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定ほか

金融機関との連携については、支店長会議などを通じた情報の共有化のほか、各々の強みを活かした特色ある連携や取り組みを展開するため、以下のとおり申し合わせ事項として特色ある取組テーマを設定し、連携協定を締結した。現在、事業パートナーとして連携を密にし、相互に事業を展開している。

### 【連携協定の状況】

H28.8 末現在

No	金融機関名	調印日	取組テーマ
1	磐田信用金庫	H27. 9. 7	「農業」と「食」に関すること (例)新規就農者等の創業支援
2	静岡銀行	H28. 1. 19	「健康」をキーワードにした施策連携 (例)産業×健康づくりほか
3	浜松信用金庫	H28. 1. 21	アウトバウンド戦略とインバウンド戦略 (例)農産物の海外輸出と観光 PR
4	掛川信用金庫	H28. 2. 15	潜在的な労働力の発掘 (例)女性の活躍などの創業支援
5	遠州中央農業協同組合	H28. 2. 18	競争力のある商品づくり (例)ふるさと納税返礼品の充実
6	スルガ銀行	H28. 3. 14	まちの賑わいづくり (例)空き店舗の利活用
7	静岡県労働金庫	H28. 3. 17	若者〔勤労者〕の定住促進 (例)住まい方など将来設計への助言
8	清水銀行	H28. 3. 25	地域を担う人材育成の推進 (例)実践的な金融経済教育の普及

## ■金融機関との連携による取組事例

### ○共通事項（全ての金融機関が参画）

「3Days Worker's Office 構想」に係る地域内就労の需要供給の実態調査

### ○個別事項

- ・磐田信用金庫 特産品PRイベント仲介(山口県宇部市)
- ・静岡銀行 ピクトグラム「指すだけ会話ナビ」作成
- ・浜松信用金庫 クラウンメロンのタイ輸出支援
- ・JA 遠州中央 袋井茶のロシア輸出支援
- ・スルガ銀行 法多山門前再興プロジェクト



【写真】第3回金融機関支店長会議 H27.11.20

## 第4章 戦略を支える取組 [第2次総合計画(再掲)]

### 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 🤔 概ね順調 😐 低調 😞 ]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

#### 4-1 活力みなぎる産業のあるまちづくり

(参考：国の政策分野1) 地方における安定した雇用を創出する

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
満足のいく雇用機会に恵まれていると 思う人の割合[↑] 【出典：市民意識調査】	%	— (H26)	21.4				50.0	😊
製造品出荷額等(従業員4人以上)[↑] 【出典：第2次総合計画/工業振興計画】	億円 /年	4,957 (H25)	5,175 (H26)				5,340	😊
観光交流客数[↑]※再掲 【出典：第2次総合計画 /観光基本計画(後期計画)】	万人 /年	423 (H26)	466				468	😊
主要農産物産出額[↑] 【出典：第2次総合計画/農業振興ビジョン】	億円 /年	77.6 (H26)	73.3				75.7	😞

#### 4-2 快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり

(参考：国の政策分野2) 地方に新たな人の流れをつくる

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
袋井市が住みよいと思っている 人の割合[↑] 【出典：市民意識調査】	%	73.3 (H26)	66.4				80.0	😞
地区計画などの実施面積[↑] 【出典：第2次総合計画】	畝	299 (H26)	299 3箇所で 協議中				360	😊
一人1日あたりの可燃ごみの排出量[↑] 【出典：市民意識調査/参考：環境基本計画】	グラム/日	518 (H26)	529				512	😞
公共施設のWi-Fiスポット設置割合[↑] 【出典：第2次総合計画/参考：ICT推進計画】	%	42.5 (H26)	45.0				87.5	😊
住宅の耐震化率[↑] 【出典：第2次総合計画/参考耐震改修促進計画】	%	91.3 (H26)	92.0				94.4	😊
浸水被害想定家屋数[↓] 【出典：第2次総合計画 /参考：中部豪雨災害対策アクションプラン】	戸	295 (H26)	295 高尾放水路 整備中				261	😊
人身事故件数[↓] 【出典：第2次総合計画 /参考：第9次交通安全計画】	件/年	775 (H26)	758				740	😊



### 4-3 こどもがすこやかに育つまちづくり

(参考:国の政策分野3)若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
「自分が住んでいるまちが子どもを産み、 育てやすいところ」と感じている人の割合[↑] 【出典:市民意識調査】	%	— (H26)	49.3				80.0	😊
合計特殊出生率[↑] 【出典:第2次総合計画】	%	1.71 (H25)	1.73 (H26)				1.81	😊
保育所待機児童数[↓] 【出典:第2次総合計画 ／参考:子ども・子育て支援事業計画】	人	30 (H27)	25 (H28)				0	😊
全国規模の学力調査で全国平均を上回る 科目の割合(小6・中3)[↑] 【出典:第2次総合計画】	%	50.0 (H26)	10.0				87.5	😞

### 4-4 市民がいいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

(参考:国の政策分野4)時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
「地域の絆や支え合いの仕組みが 形成されている」と感じている人の割合[↑] 【出典:市民意識調査】	%	— (H26)	43.3				80.0	😊
お達者度(男性/女性)[↑]※再掲 【出典:第2次総合計画 ／健康づくり計画(県健康増進課)】	年	男 17.51 (県内 15 位) 女 20.87 (県内 20 位) (H24)	男 17.44 (県内 19 位) 女 20.86 (県内 21 位) (H25)				男 17.69 (10 位以内) 女 21.17 (10 位以内)	😞
市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の 割合[↓] 【出典:第2次総合計画/健康づくり計画】	%	9.2 (H25)	9.7 (H26)				7.8	😞
総合健康センターでの総合相談件数[↑] 【出典:第2次総合計画】	件	2,500 (H26 想定値)	2,080				2,900	😞
自治会加入率[↑] 【出典:第2次総合計画】	%	87.5 (H27)	87.2 (H28)				89.5	😞
協働まちづくりセンター登録団体数[↑] 【出典:第2次総合計画】	団体	46 (H26)	52				66	😊
「男女共同参画社会づくり宣言」 宣言事業所の数[↑] 【出典:第2次総合計画 ／第3次男女共同参画推進プラン】	事業所	30 (H26)	41				47	😊

# 第5章 参考資料「やままいか通信（抜粋）」

## 会議 地方創生会議

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やままいか通信 vol.1  
発行日：平成27年5月15日

**「創生会議」始動。総合戦略策定の議論がスタート**

**袋井市の将来人口展望について**

- 総人口は「横ばいから、徐々に減少傾向」に転じる。  
現在の人口動態から将来人口を推計すると、2060年の本市の人口は65,000人に…
- 年齢3区分別では「年少人口」「生産年齢人口」は、ともに減少
- 「老年人口」は、増加し45年後に総人口の36.6%に…

創生会議では、総合戦略の策定のため子育て支援や産業振興、産業の振興、防災対策や新しい時代にあつたりなど、出生率の上昇や社会意識の醸成に寄与する施策の策定や推進の方向性を、「自然環境」や「社会意識」など将来人口に及ぼす影響をシミュレーションしながら、今後取り組むべき施策を議論します。

■人口減少の止むべきを懸念…(人口増加促進、出生率向上策)  
■人口減少に懸念…(高齢者、労働力不足など)

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やままいか通信 vol.4  
発行日：平成27年5月22日

**創生会議「ふくろい部会」の議論もスタート**

**第1回「ふくろい部会」での意見紹介**

未来を担う人材をいかに育てるか。キーワードは「子育て支援」や「教育環境」

- 少子化と併発している、子どもの育環境を改善する必要がある。
- 育休取得率の向上、育休取得後の就業環境の改善が課題。
- 育休取得後の就業環境の改善が課題。
- 子育て支援の充実が、子育て支援の充実が、子育て支援の充実が…
- 子育て支援の充実が、子育て支援の充実が…
- 子育て支援の充実が、子育て支援の充実が…

袋井で「育休」「学校」「就職」できるまちに…

- 「育休」取得率の向上が課題。
- 「学校」の充実が課題。
- 「就職」の充実が課題。

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やままいか通信 vol.35  
発行日：平成28年2月20日

**金融機関支店長との意見交換**

**地域内の就労に関する実態は…(職歴・スキル)**

市内すべての金融機関が、独自のネットワークを活用し本市が行う「就労に関する需要実態調査」に協力することで合意。

**第4回「総合戦略策定協議会」での意見紹介**

- 市内すべての金融機関が、独自のネットワークを活用し本市が行う「就労に関する需要実態調査」に協力することで合意。
- 市内すべての金融機関が、独自のネットワークを活用し本市が行う「就労に関する需要実態調査」に協力することで合意。

## 挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やままいか通信 vol.8  
発行日：平成27年6月10日

**袋井市役所×静岡理科大学 Rikejo Cafe**

**次代を担う20代の若者(若手世代)の活躍の場を、実践(働き方)、社会参加、子育て、その発展を期待する取り組み**

Rikejo Cafeでの取り組み

- 協賛について(魅力や日常生活で感じること)
- Rikejo Cafeでの取り組み(魅力や日常生活で感じること)
- Rikejo Cafeでの取り組み(魅力や日常生活で感じること)

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やままいか通信 vol.18  
発行日：平成27年11月30日

**ICT×教育 “わかりやすい授業の実践”**

**電子黒板機能付タブレット導入 先行型取組事例**

袋井市立三川小学校・笠原小学校…全教室配備済 (H27.11現在)

授業がよくわかると答える児童の割合 **90%**

全授業の学力調査(小4)で「全国平均を上回る科目の割合」**100%**

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やままいか通信 vol.20  
発行日：平成27年12月10日

**「よろず支援拠点」併設 県内初サナライ**

袋井市中小企業支援協議会(袋井商工会議所・連勝町商工会・静岡理科大学)が、地域の企業支援拠点として「どまんなかチャレンジプレイス」を設置しました。

プレス内には、県内初となる「静岡よろず支援拠点」の西部地区サナライも併設されました。「よろず支援拠点」は、国(経済産業省)が全国47都府県に各1か所指定した経営相談所です。本県では静岡商工会議所に設置されています。

コーディネーターを核に、各支援機関や専門家とチームを組み、中小企業や困難をうとしている小規模事業者を支援します。

お問い合わせ・相談のお申し込みは  
**どまんなかチャレンジプレイス TEL：0538-38-9407**  
袋井市総合センター1階(東側)

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やままいか通信 vol.31  
発行日：平成28年2月15日

**輝く未来へ今、袋井が動き出す!**

**袋井の魅力を広く国内外へPR 「ふくろい未来大使」が決定!**

(市制施行10周年記念)

袋井市出身や袋井市にゆかりのある方の中から、文化・芸術・教育・産業・スポーツなど各分野で活躍されている方を応募。

1月28日に開催した第5回「ふくろい東京交流会」で12人の方を「ふくろい未来大使」として選出しました。

ニコラス・エドワーズさん(イギリス)  
松本健二さん(東京)

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やままいか通信 vol.42  
発行日：平成28年6月15日

**袋井商業高校5年制「高専化」を…川勝知事と赤苗教育長へ要望**

袋井商業高等学校の5年制化推進に関する要望書(18年10月23日)を、静岡県庁(18年10月23日)へ提出し、川勝知事と赤苗教育長へ要望書を出しました。

要望は「地方創生を担う人材育成のため、専門性の高い高等教育が受けられる環境づくりとして、全国初となる商業系専門学校の設立」を要望しました。

○川勝知事へのコメント  
「これは“新しい実業”が求められる時代。文科系分野への働きかけを含め、ぜひ進めたい」と述べました。

○赤苗教育長へのコメント  
「高専を置くには文科系分野の認可が必要。今後、具体的な方針を策定し、実現に向けて取り組んでいく」と述べました。

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議  
地方創生 やままいか通信 vol.52  
発行日：平成28年8月10日

**“フッピーのぼっけ”**

子育て支援アプリ完成 H28.4運用開始

袋井市が発信する様々な子育て支援情報を、いつでもどこでも、手軽にスマートフォンで入手することができる無料の子育て応援アプリです。

子育て世代のみさんへ  
アプリのダウンロードはこちら

App Store Google Play





## 第6章 参考資料 [地方創生交付金等の活用状況]

### ○平成27年度 「地方版総合戦略の策定&先行的な取組」

#### 第1弾 ㉔2月補正⇒㉔繰越

総額：116,161千円

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金 [消費喚起・生活支援型]
- 事業費 72,653千円 (国費10/10)
- 交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分
- 施策の概要  
地域における消費喚起策「元気はつらつクーポン券」(プレミアム付き地域商品券)の発行  
発行冊数：33,000冊、発行総額：396,000千円(プレミアム率20%/66,000千円)

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金 [地方創生先行型/基礎分]
- 事業費 43,508千円 (国費10/10)
- 交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分
- 施策の概要
  - ・「地方版総合戦略」の策定のほか、まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業
  - ・ICT教育の充実強化(電子黒板の導入)、子育て応援アプリの開発、観光情報の多言語化、全国メロンサミットの開催、クラウンメロンの海外輸出支援、シティプロモーションほか

#### 第2弾 ㉔11月補正

総額：20,000千円

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金 [地方創生先行型/上乘せ交付(タイプI)]
- 事業費 10,000千円 (国費10/10)
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要
  - ・「3 Days Worker's Office 構想」策定事業  
「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組みづくり

採択  
内閣府

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金 [地方創生先行型/上乘せ交付(タイプII)]
- 事業費 10,000千円 (国費10/10)
- 交付要件 地方版「総合戦略」を10月末までに策定した自治体に交付(施策の推進費)
- 施策の概要
  - ・ICT教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、タブレットを活用した学習支援の社会実験  
袋井商業高等学校の5年制化の推進、アクティブ育児応援プログラム



### 第3弾 ⑳2月補正⇒㉔繰越

総額：80,000千円

- 交付金名 地方創生加速化交付金
- 事業費 40,000千円(国費10/10)
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

採択  
内閣府

#### 「3 Days Worker's Office 構想」実装化事業

- ・基礎調査(㉔実施)により抽出された課題整理と制度の詳細設計、推進協議会の開催
- ・「仕事の切り出し」や「シフトの組み方」など好事例の実践

- 交付金名 地方創生加速化交付金
- 事業費 40,000千円(国費10/10)
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

採択  
内閣府

#### 「グローバル戦略」加速化事業

- ・TPPを見据えたクラウンメロンの輸出促進  
新興国市場での需要喚起と販路拡大(トップセールス、海外バイヤー招聘ほか)
- ・ラグビーW杯を見据えた訪日外国人観光客のおもてなし環境整備  
市民の英語力向上(英検受験助成ほか)、ふくろい版ホームスティ、シティプロモーション

### ○平成28年度 「本格的な地方創生事業の推進」

### 第4弾 ㉔9月補正(予定)

総額：50,000千円

- 交付金名 地方創生推進交付金
- 事業費 50,000千円(国費1/2)
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

採択  
内閣府

#### 「ふくろい版グローバルイノベーション戦略」(H28-H30)

- ・誘客による交流人口の増加に加え、「働き方改革」と連動させた「2地域居住」などの推奨により、新たな人や技術の流れをつくる。(例) サテライトオフィスの実証実験 など
- ・若者や元気な高齢者の自由な創業や挑戦を支援し、コミュニティビジネスなど新たな仕事の創出と地域課題の解決に繋げる。(例) オープンデータ、クラウドファンディングの推進 など
- ・教育の質的な向上を図り、次代を担う人材育成と若者が夢や希望の持てる賑わいのあるまちづくりを推進し、定住を促進させる。(例) プログラミング体験学習 など